

公益社団法人日本ライフル射撃協会

2023年度第4回理事会議事録

日時：2023年11月25日(土) 13:30~15:49

場所：ジャパンスポーツオリムピックスクエア会議室8及びオンライン会議(Zoom)

出席者（* テレビ会議による出席）

松丸喜一郎会長 *田村恒彦副会長 *横山幸子副会長 平眞専務理事

大野明敏常務理事 *三木容子常務理事 佐橋朋木常務理事 成山悟史常務理事

*田中僚一郎理事 *田口亜希理事 *松島愛理事 酒寄貴瀬理事

穂苅美奈子理事 *栗生由紀理事 藤枝操理事 横沢聡理事 *尾崎和郎理事

*高橋信吾理事 *仲本渚理事 五十嵐治人理事 田中辰美理事

岸高清監事 *永谷喜一郎監事

理事：総数27名中、以上出席21名

監事：総数2名中、以上出席2名

議事録署名人：

松丸会長、田村副会長、横山副会長、岸高監事、永谷監事

平専務理事が13時33分に理事21名出席で成立するとの宣言をした。

議長：代表理事 松丸喜一郎

事務局が、オンライン会議システムにより、出席者の音声即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

1 会長あいさつ

理事会の日程を1週間早めるにあたり、協力に感謝する。ISSF や ASC の会議が重なったときは日本ライフル射撃協会の理事会を優先している。今回については、ISSF のワークショップにおいて、私（松丸会長）が eshooting についてのセッションを担当することになった。ISSF の中で、eshooting について理解している方が多くいないので、eshooting 説明する絶好の機会として、本会の理事会の日程を変更した。

<審議事項>

2 会長提案 審議事項なし

3 総務委員会

3.1 2024 年度ふるさと納税の加盟団体への還付率について

還付金通知書には、その使途目的として普及事業での活用を明記しているが、使途が目的に沿っていない場合は、2024年度支給分の還付率を減額する可能性があることも通知書に明記することを松丸会長が提案した。議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

補足説明

過去の還付金通知書において、普及に使うように依頼している。しかしながら、使途についてアンケートをとったところ、運転資金にまわしたという回答があった。体験会や設備の修繕など、普及事業として使って欲しい。減率については、理事会にて審議する。

3.2 ふるさと納税実質負担のゼロについて

松丸会長がふるさと納税の紹介ページとともに説明した。加盟団体を通しての（会員への）間接的な返礼が可能なのかどうか顧問弁護士に確認する。可能な場合は、寄付した会員について減免するという方針とする事を松丸会長が提案した。

議長が理事会に諮り、法的に問題ないことの条件付きで、理事会によって方針が承認された。減免の具体的な内容と方法は、継続して検討する。

補足説明

会費の減免については、総会決議事項である事を顧問弁護士から説明を受けている。（松丸会長）

寄付者としては、会員以外からもありえる。会費の減免については、学生など会費が異なる会員もいる。自己負担ゼロは、寄付者全員を対象と出来るわけではない事を理事の方々にもご承知いただきたい。（藤井彌事務局長）

加盟団体を通して行う減免は、会費の2000円の減免、および段級登録料や試合参加料なども検討する。（松丸会長）

加盟団体を通して、という説明なので、（自己負担ゼロに言及した）ビデオは会員を対象としたものである。（松丸会長）

ふるさと納税に対する新宿区から本会への入金報告は、翌年の7月か8月になる。よって、会費を減免対象とする場合は、ふるさと納税を申請した翌々年度の会費が対象になる。（藤井彌事務局長）

早期報告を求める申し入れを新宿区役所へ行ったが、受け入れられなかった。次回新宿区長に再度要望をする。（松丸会長）

本制度は事務手数料2000円を補填できれば寄付者も負担なく、協会も寄付額の70%が受け取れ、加盟団体もその50%を上限として受け取れる素晴らしい制度である。理事の皆様には会員に範を示す意味でも、率先垂範で日ラ応援のふるさと納税寄付をお願いしたい。（松丸会長）

質疑応答

複数のところにふるさと納税をする人もある。他のところにもふるさと納税をしても、本会

が自己負担をゼロにするのか。（佐橋常務理事）

→他にどこへ寄付したか、聞くことはできない。顧問弁護士に確認する。（松丸会長）

税としての納める2000円を法人が補填する事に問題はないのか。複数のところにふるさと納税をしている場合に、本会が全て充当するのか。顧問弁護士と検討してほしい。（田村副会長）

→実質負担が2000円だから、2000円値引きする提案をしただけであり、1000円でも3000円でも構わない。2000円の税負担を本会が行う、という趣旨ではない。（松丸会長）

寄付の申込額が1000円という人がいるが、どうするのか。（佐橋常務理事）

→（支援金が）2000円以下となる人もいるが、これはテクニカル（実務的）な話である。

寄付した会員について減免するという方針についてだけご承認をいただきたい。（松丸会長）

4 推薦委員会

4.1 推薦 Bulletin No 5 6 について

大野推薦委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

質疑応答

病気や怪我のうち、言いたくない病気はどうなるのか。ジェンダーに関する事もある。預かる側として責任が重い。（酒寄理事）

→細かな記述は必要ない。（大野委員長）

5 国体委員会 審議事項なし

6 選手強化委員会

6.1 パリ2024オリンピックでのメダル獲得に係る選手及び専任コーチ報奨金について佐橋選手強化委員長が資料とともに説明し、修正を反映した内容で理事会によって承認された。

修正

ミックスチームについては、選手への報奨金はチームメンバーで半分ずつ受け取る事を追記する。

質疑応答

団体戦についてはどうなるのか。ミックスチームでメダルを獲得した場合は対象外とするのか、チームメイトで半分ずつとるのか。（穂苅理事、藤井彌事務局長）

→ミックスチームについては、記載されている金額を2名で半分ずつ受け取るものとする。（佐橋選手強化委員長）

7 競技運営委員会

7.1 公認審判員

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

7.2 日本記録

三木競技運営委員長が画面共有資料と共に説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

訂正

50m ライフル伏射女子 ジュニア「村田久美」→「村田薫美」

7.3 国内共生種目のルール化について

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、訂正を反映した内容で理事会によって承認された。

訂正

「2025年2月理事会にルールを上程する。」→「2024年2月理事会にルールを上程する。」

補足説明

障がい者のための新たなルール設定ではない。健常者の加齢による身体変化に対応する方法としての手立てである。(田中辰美理事)

射撃スポーツが老若男女関係なくできる事をアピールし、普及に資する。(成山常務理事)
共生化の趣旨がアスリート達に周知されていない、との指摘を堀水委員長から受けた。その時アスリート達に話した動画を共有する。(松丸会長)

→松丸会長による説明動画の要約：一般の人は銃に対してネガティブな印象を持っている。環境問題から弾丸の素材も制限されつつある。オリンピックでも出場枠も減少している。しかし、ライフル射撃は老若男女が同じ土俵で競える稀有な競技であり、共生社会の実現に貢献できる。日本ライフル射撃協会では、最高峰の全日本選手権大会で男女混合の総合優勝を表彰することで、この競技の良い面を発信していきたい。

<https://vimeo.com/888142897/46197aeb26?ts=0&share=copy>

7.4 2024 年度事業計画

三木競技運営委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

質疑応答

G2以上が理事会開催日にかかっていないか。(松丸会長)

→議長が個別に読み上げ、理事全員で確認し、G2以上が理事会開催日にかかっていない事を理事会として確認した。

7.5 次世代機器の公認アプローチ

三木競技運営委員長が画面共有資料とともに説明した。議長が理事会に諮り、提案された公認アプローチについては継続検討となった。

質疑応答

銃だけでなくターゲットも複数機種を認めるということか。過去に機種を1種類にした理由は、公平性を担保するためである。(松丸会長)

→1つ競技会においては1種類を使う。(三木委員長)

後継機種は、1つかもしれないし、2つかもしれない。どういう決定なのか、文書で明らかにした上で承認すべきではないか。(岸高監事)

8 普及・生涯スポーツ委員会

8.1 認定コーチについて

成山普及・生涯スポーツ委員長が資料とともに説明し、議長が理事会に諮り、案の通り理事会によって承認された。

補足説明

認定コーチ資格取得者は、積極的に本会の活動に参加して欲しい。(成山委員長)

体験会やFTEMで積極的に主力となって活動していただきたい。(松丸会長)

9 マーケティング委員会 審議事項なし

10 コンプライアンス委員会 審議事項なし

11 アスリート委員会 審議事項なし

<報告事項>

12 会長報告 報告事項なし

13 総務委員会

13.1 2023 年度中間決算報告

平専務理事より資料とともに報告があった。

補足説明

例年は、一般会計が1000万の黒字、選手強化・ジュニア育成事業が1000万の赤字で均衡していた。今期はJSCスポーツ振興くじ、JSCスポーツ振興基金による支出があり、一般会計の黒字がない。また、選手強化・ジュニア育成事業の赤字額が例年以上になった。結果として、協会全体の収支が、和光市のアジアエアガン選手権大会を行った年度以来の大き

な赤字となった。(藤井彌事務局長)

来年度は収支均衡を目標とする。(松丸会長)

13.2 2023年度ふるさと納税の加盟団体への還付予定について

前回理事会で報告した金額を12月15日振込にて加盟団体へ還付する事を藤井彌事務局長が報告した。

14 コンプライアンス委員会 報告事項なし

15 推薦委員会報告

15.1 審査結果

大野推薦委員長より資料とともに報告があった。

16 国体委員会報告 報告事項なし

17 選手強化委員会報告

17.1 アジア競技大会結果報告

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

17.2 アジア選手権大会結果報告

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

17.3 東アジアユースエアガン大会出場選手について

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

17.4 ISSF ワールドカップファイナル派遣選手に関して

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

17.5 2023年 WSPS 世界選手権リマ大会並びに杭州アジアパラ競技大会結果報告

佐橋選手強化委員長より資料とともに報告があった。

17.6 FTEM 経過報告

佐橋選手強化委員長より口頭にて表題についての報告があった。

3ブロックは計画中であり、他は実施している。各ブロックでどういった事ができるか、ということを考えている。toto 事業としての縛りがあるので、次年度は説明を重ねて実施したい。ブロックの中で各県との連携や指導者不足が課題として上がっている。

18 競技運営委員会報告

18.1 電子標的の再公認について

9月の理事会にて承認された電子標的の公認について、岩手県から問い合わせが来ており、顧問弁護士と確認して回答する予定である事を三木競技運営委員長が説明した。

質疑応答

所有権確認を岩手県と日本ビームに確認すること。(松丸会長)

→承知した。(三木競技運営委員長)

18.2 TD 講習会(オンライン)2024年1月27日(土)10:30~12:00 予定

三木競技運営委員長より口頭にて表題の予定の報告があった。

18.3 審判講習会(ハイブリッド)2024年2月18日(日)10:00~12:00 予定

三木競技運営委員長より口頭にて表題の予定の報告があった。

18.4 新ルール規則集発行、紙媒体での完全受注生産の件

三木競技運営委員長より口頭にて表題の予定の報告があった。

補足説明

料金や申込方法は、競技運営委員会から加盟団体へ周知する。

18.5 2025年度~2027年度 G1,G2公募期間 12月1日~1月31日

三木競技運営委員長より口頭にて表題の予定の報告があった。

18.6 2024年度 G3 試合要項公募期間 12月1日~1月31日

三木競技運営委員長より口頭にて表題の予定の報告があった。

18.7 試合要項(Word)、試合結果(PDF)競技会報告書、提出専用メールアドレスの開設

三木競技運営委員長より口頭にて表題の予定の報告があった。

質疑応答

G3 試合結果が本会のホームページに掲載されていない事がある。(松丸会長)

→成績報告用エクセルシートは届くが、ホームページに掲載する試合結果の PDF にて届かない事がある。記録報告のエクセルシート提出だけでなく、本会のホームページ掲載する試合結果も提出するよう、加盟団体へ通知する。(三木競技運営委員長)

18.8 競技記録公認規定改定の修正報告

三木競技運営委員長より資料とともに表題の報告があった。前回理事会での指摘事項を受けて修正した内容を理事会として確認した。

19 普及・生涯スポーツ委員会 報告事項なし

20 マーケティング委員会報告 報告事項なし

21 アスリート委員会

21.1 アスリート委員会活動状況について

資料をもって報告とし、質疑応答はなかった。

22 会務報告

22.1 鉄腕アトムグッズの EC サイト販売について

藤井彌事務局長より、画面共有資料とともに説明があった。

22.2 協会史の電子保存について

藤井彌事務局長より、資料とともに説明があった。

質疑応答

協会史に掲載されている、記録も電子保存（電子ブック）に収録すること。（松丸会長）

→承知した。（藤井事務局長）

以上各業務執行理事より職務執行の状況報告があった。

15時49分議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2023年11月25日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事

松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

横山幸子

横山幸子



監事

岸高 清

岸高 清



監事

永谷喜一郎

永谷喜一郎

